

センター長だより

振興祭開催に寄せて:大塚地区の子どもや大人の表現の場にしましょう

大塚地区交流センター
センター長 加藤秀樹

はじめに

振興祭は運動会と並んで大塚地区の私たちにとって大きな年間事業の一つです。特に農産物生産者の皆さんにとってはその年の収穫物を披露する機会であり、趣味や民芸品作りを通して文化芸術にいそしんでいる皆さんにとっては日々の成果や成長を知ってもらうまたとない機会です。時間とともに育まれる物事は留まることなく続けることが大切との思いで、コロナ禍の中規模を縮小しつつも中断することなく続けてきました。振興祭は私たち地区民にとって貴重な表現の場であり、新たな発見の場としたいものです。

1. 令和3、4年度の振興祭を振り返ってみます

令和3年の振興祭では、例年のように体育館の壁に園児や小中校生の絵画が掲示されました。恒例となっていて地区民にとって新鮮で楽しみですが、一部の作品は町の展覧会に出品されています。例年それとは別に個人的な応募作品が飾られるのですが、一昨年は残念ながら小学生たった一人の習字だけでした。子どもたちはもちろんのこと大人にも振興祭のために描き、出品して欲しいと感じました。そこで、令和4年は、振興祭を2部制とし、第2部を文化祭と謳い、作品展示会場をセンターに設けました。以前から出品していただいている団体からはもちろんのこと、子供から大人まで数名から書道、絵画、川柳などの作品の応募がありました。特に、6年生齊藤咲楽さんの作品は県民ふれあい書道展で山形新聞社賞を受賞した作品でしたし、前柳長栄氏の書道作品は草書、隷書を条幅(半切)にしたためたもので、どちらも見応えのあるものでした。

2. 絵(絵画)と習字(書道)は芸術の入口です

大げさかも知れませんが、絵(絵画)と習字(書道)は幼稚園や小学校で始める身近で本格的な芸術への入り口です。「基本」がしっかりしていれば平均的な作品ができ上がりますし、「基本」にその子供の「感性」が加われば「平均より上手」な作品ができ上がり、コンテストで表彰される可能性が出てきます。受賞を機にその専門の道へと邁進しようとする子どもも出てくるでしょう。受賞する作品は綺麗で整っていることも大切ですが、個性的であることが重要です。「個性」は基本を守りつつもそこから良い意味で「逸脱」していて、もう一度見たいと思わせる雰囲気を出します。絵で言えば、色使いや構図はその人の感性が現れ、そこに人を振り向かせる要因があります。ジミー大西の絵画は誰でも描けそうと勘違いしそうですが、その緻密さと色使いは到底真似ができるものではありません。また、棟方志功の大胆な彫刻刀さばきの版画は素人の作品では?と思わせますが、題材や構成を含めた作品全体が天才と言わしめる所以です。自分が持つ感性は本人に

はわからないので、機会あるごとに展覧会などに出品して評価してもらい、埋れさせないことが大切です。

3. 子どもたちの才能発掘のための山形県や川西町の取り組みについて

山形新聞等が県こども絵画展(こども県展)を主催しています。今年の第 65 回県こども絵画展(こども県展)は県内の幼稚園、小中学校から約 11,991 点の応募があり、そのうち約 1,019 点に県展賞(12 名)、奨励賞(48 名)および入賞(幼稚園 388 名、小学校 499 名、中学校 72 名)が与えられ、8 月下旬の山形新聞紙上で発表されました。受賞者が 100 人に約 9 人ですので、入選することは決して容易ではありません。受賞者は 35 市町村中 33 市町村から選ばれています。一方、すべての学校が応募しているということではありませんから、学校やそれを管轄している市町村教育委員会の考え(方針)が尊重されていると思われれます。例えば、小中学生の場合、鶴岡市と米沢市からの受賞者は 1 名と 6 名であるのに対して、近接する酒田市と南陽市からは 137 名と 28 名であることから推測できます。ちなみに、川西町の受賞者は、「奨励賞」が小学校 1 名(小松小 1 名)、「入選」は小学校 6 名(小松小 5 名、吉島小 1 名)で、本町と人口が近い白鷹町では「奨励賞」が幼稚園 3 名、小学校 1 名、中学校 1 名、「入選」が幼稚園等 23 名、小学校 36 名、中学校 6 名でした。

川西町の絵画に関する事業に町絵画展があります。本町出身の黒澤梧郎画伯の寄付金を「町絵画教育振興基金」とし、11 月の町芸術文化祭にあわせて毎年開催されています。令和 4 年度は最優秀賞の黒澤梧郎賞の 9 作品を始め、優秀作品が選ばれ、幼児の部 91 作品、小中学生の部 106 作品、計 197 作品がフレンドリープラザで展示されました。川西町ではこの絵画展に力を入れていることから、町内の学校ではこども県展への出品そのものを控えたり、応募点数を少なくしたりしているのではないかと思います。

4. 西大塚駅まつりや大塚振興祭で子どもや大人の才能を披露してみませんか？

欲を言えば、川西町には「町絵画展」と「こども県展」の両方に力を入れていただけたらと思うのですが、学校としては多様なカリキュラムや教職員の働き方改革などを抱えているため、地域の要望に応えることが容易でないことは理解できます。一方、学校を離れて、子ども自身あるいは家庭の取り組みとして文化芸術活動を行うことは、子どもたちの可能性の自由な追求という点で大切なことだろうと思います。最近では、書道、絵画、音楽等の文化芸術はもちろんのこと各種スポーツ

についても学校の部活動から民間の「教室」へ委ねられるようになってきています。個人的な文化芸術活動については、その成果を問うために各種展覧会等へ応募することはむしろ推奨されることだろうと思います。皆さんがチャレンジした成果を是非西大塚駅まつりと大塚振興祭で披露して欲しいと思います。

さいごに

絵画や書道は子どもの時に慣れ親しむ身近な芸術活動で、感性を高めたり、芸術に対する可能性を試したりする大変良い手段だろうと思います。将棋の藤井聡太七段の色紙をテレビで見る

機会がありますが、技術的には決して高いとは言えませんが、のびのびとしていて、間違いなく「藤井七段」そのものが表現されていると感じさせてくれます。

誰にも自分で気づいていない才能、伸ばしたい才能があるはずですので、大人の皆さんはもちろんのこと、子どもやお孫さんが希望するのであれば絵画や書道だけでなく歌や踊り、スポーツに果敢にチャレンジさせて欲しいと思います。今年度からセンターでは書道教室や筋認体操(とっとり方式体操)を始めました。これからも皆さんにとって、楽しく役に立つような事業を増やしてゆきたいと思います。



センター出張、会議出席等

(期間：令和5年9月1日～9月30日)



月日時間	会議・出張等の名称	会場
9月3日(日)、6時半～12時	賀寿伝達式・敬老祝賀会	交流センター
9月4日(月)、9時半～11時	7地区センター長会	町役場
9月6日(水)、13時半～15時	書道教室	交流センター
同、18時半～20時	町づくり委員会研修会	茂木食堂
9月9日(土)、7時～12時	大塚地区自主防災訓練	交流センター
9月11日(月)、14時～15時	フラワー長井線まつり実行委員会	長井市役所
9月14日(木)、13時～15時	上吉田ボランティア会	吉島交流センター
9月15日(金)、13時半～16時	県防災フォーラム	ビッグウィング
9月17日(日)、20時～21時	青パト夜間巡視活動	八幡神社
9月21日(水)、19時～21時	社明協三役会	かとうホール
9月22日(金)、8時～11時	大塚小学校運動会	大塚小学校
9月25日(月)、9時～11時	映画鑑賞会・うたごえ喫茶	交流センター
同、19時～20時	社明協執行役員会	交流センター
9月26日(火)、18時半～19時	民生児童委員推薦会	町役場
9月27日(水)、19時～20時	大塚振興祭組織委員会	交流センター
9月28日(木)、8時半～9時半	センター定例会議	交流センター
同、9時半～10時	筋認体操(とっとり方式体操)	交流センター
9月29日(金)、9時～11時50分	大塚小学校体験学習	大塚小学校
同、13時半～16時	防災講習会	置賜支庁
同、18時～21時	夏まつり実行委員会・懇親会	町役場・三榎屋
9月30日(土)、9時～11時	北斗幼稚園運動会	北斗幼稚園

*上記以外にセンターでの百歳体操に参加した。

募集：西大塚駅ホーム除雪作業

フラワー長井線を運営する山形鉄道は、西大塚駅ホームの除雪を請け負ってもらえる方を探しています。概略は下記の通りです。

期間 : 令和5年12月1日～令和6年3月31日まで

賃金 : 令和6年1月と2月は月額32,370円

令和5年12月と令和6年3月は1時間1,090円

作業内容: 始発前に10cm以上の積雪(降雪)があった場合、駅ホームの除雪を行います。日中に同様の積雪があった場合にも除雪を行います。

なお、ホーム以外の駅周辺については除雪の必要はありません。さらに詳しく知りたい方はセンターへご連絡ください。山形鉄道から作業内容に関する契約書を預かっていますのでご覧頂けます。



募集中！

大塚地区交流センターでは、下記について引き続き募集しておりますので是非とも応募いただきますようお願い申し上げます。

- ・生涯学習推進員(センタースタッフ)※主にスポーツ大会運営
- ・治平館だより等の編集委員ならびに読者モニター
- ・人材バンク登録(専門的な技術や知識、特技等)
- ・書道教室のお世話係(準備や後片付け等)



※それぞれ随時受付をしておりますので、大塚地区交流センターまで各種用紙に必要事項を記載し提出、または応募の旨をご連絡いただきますようお願い申し上げます。

(各種応募用紙は、センターにもございます)